

# Zabbix 監視設定の流れ (例)

2014/02/04 第4回 OSS運用管理勉強会

初心者の初心者による初心者のためのZabbix入門

## 1. ホスト (監視対象サーバー・機器) の設定

画面移動	【設定】 > 【ホスト】 > 【ホストの作成】 ボタン	
入力内容	ホスト名	sample_host (任意の英数文字列)
	グループ	Linux serversを【その他のグループ】ボックスから【グループ】ボックスに移動
	エージェントのインターフェース	【IPアドレス】に監視対象ホストのIPアドレス
	入力し終わったら【保存】ボタンを押して終了	

## 2. アイテム (監視項目) の作成

画面移動	【設定】 > 【ホスト】 > 【sample_host】 行の【アイテム】 > 【アイテムの作成】 ボタン	
入力内容	名前	FTPサーバー稼働監視
	タイプ	シンプルチェック
	キー	net.tcp.service[ftp] (右の【選択】ボタンを押して表示されるダイアログから選択)
	入力し終わったら【保存】ボタンを押して終了	

## 3. トリガー (障害判定式) の作成

画面移動	【設定】 > 【ホスト】 > 【sample_host】 行の【トリガー】 > 【トリガーの作成】 ボタン		
入力内容	名前	FTPサーバー稼働判定	
	条件式	(右の【追加】ボタンを押して表示されるダイアログから選択)	
		アイテム	sample_host: FTPサーバー稼働監視 (右の【選択】ボタンを押して表示されるダイアログから選択)
	機能	最新(T秒前/T個前)の値 = N	
	N	0	
	入力し終わったら【挿入】ボタンを押して、【条件式】の入力は完了		
	深刻度	【重度の障害】	
入力し終わったら【保存】ボタンを押して終了			

## 4. アクション (障害通知動作) の作成

画面移動	【設定】 > 【アクション】 > 【アクションの作成】 ボタン		
入力内容	【アクション】 タブ	名前: sample_action	
	【アクションの実行内容】 タブ	1. 【新規】を押す	
		2. 【ユーザーに送信】セクション内の【追加】を押す	
		3. 表示されたダイアログで、【Admin】を押す	
		4. 【追加】を押す	
5. 【保存】を押す			

## 5. メディアタイプの編集 (メールサーバー等の設定)

画面移動	【管理】 > 【メディアタイプ】 > 【Email】	
入力内容	SMTP サーバー	localhost
	SMTP helo	localhost
	送信元メールアドレス	zabbix@localhost (任意のメールアドレス)
	入力し終わったら【保存】ボタンを押して終了	

## 6. メディア (メールアドレス等) の登録

画面移動	【管理】 > 【ユーザー】 > 【Admin】	
入力内容	【メディア】 タブ	1. 【追加】をクリックしてダイアログを開く
	2. 送信先: root	
	3. 入力し終わったら【追加】ボタンを押して終了	
	4. Emailがメディアとして追加されていることを確認したら、【保存】を押す	